

令和6年度
教育課程特例校における特別の教育課程
【実施状況報告】

池田市立 北豊島小学校

1. 概要

池田市では平成16年3月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年年間35時間）し、平成18年度より全小学校で実施してきました。

平成20年7月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特区認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成25年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成26年度以降も継続を申請し、1～4年生における「英語活動」の授業を実施しました。

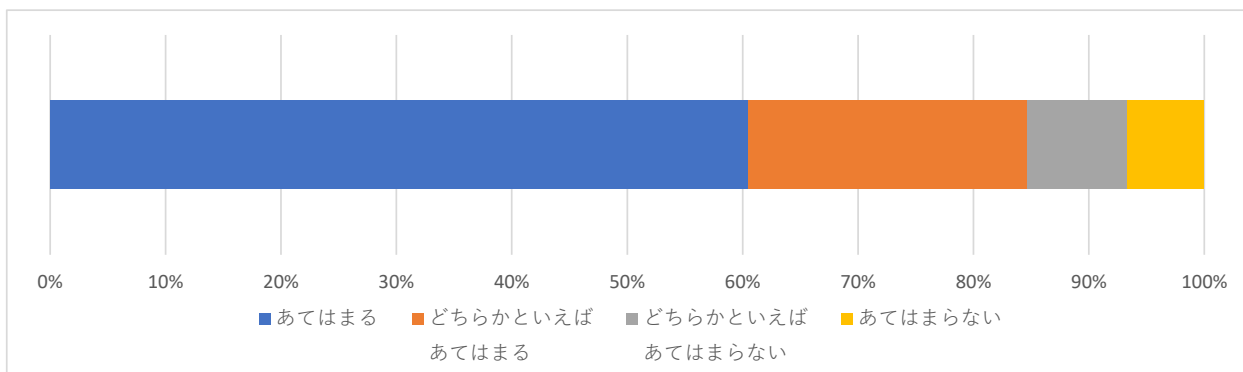
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き1・2年生で実施し、幼稚園、小・中・義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この1・2年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間15時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

2. 児童アンケートの結果

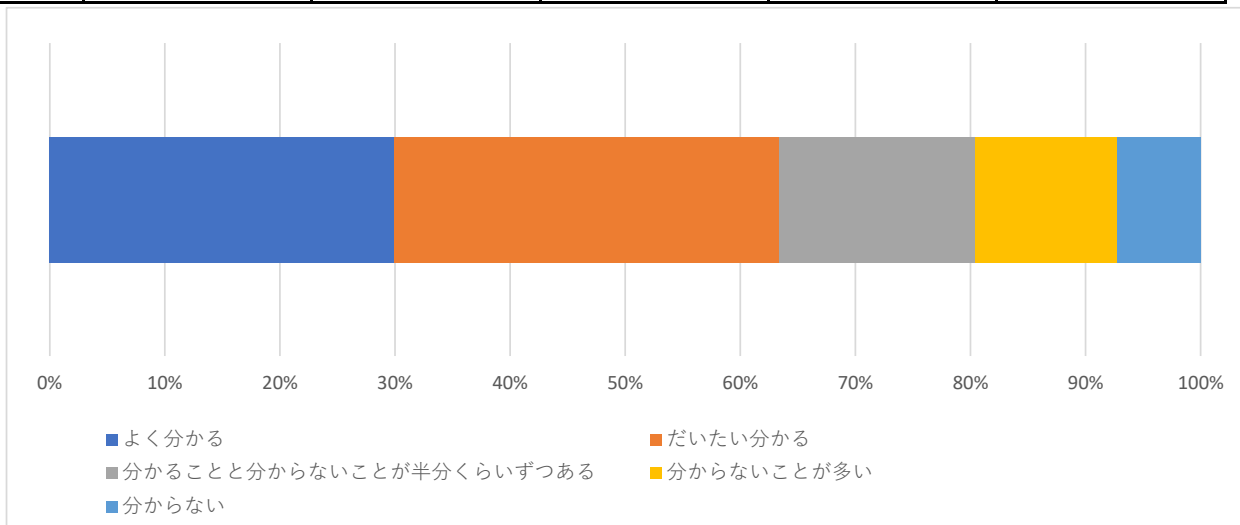
① 英語の勉強は好きだ。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	71	17	9	6
2年生	47	30	8	7
合計	118	47	17	13



② 英語の授業はよくわかる。

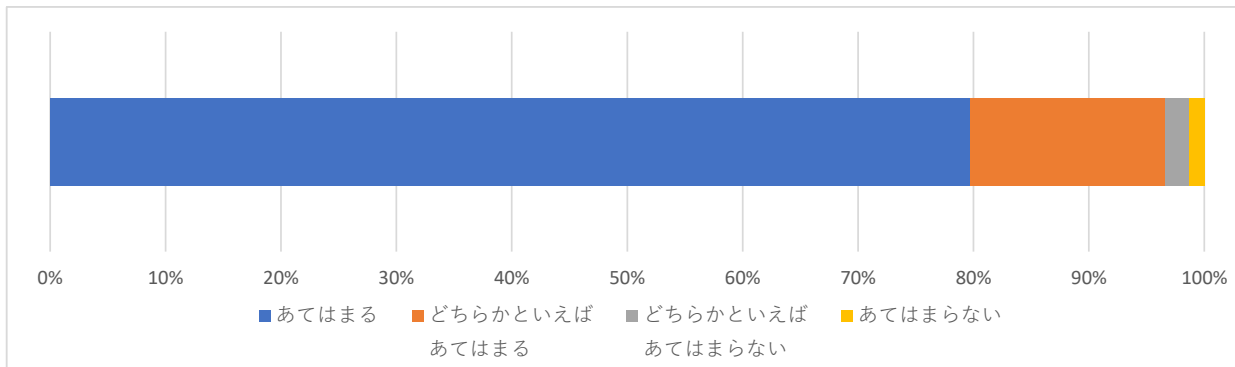
	よく分かる	だいたい分かる	分かることと分からないことが半分くらいずつある	分からないことが多い	分からない
1年生	29	32	19	15	8
2年生	29	33	14	9	6
合計	58	65	33	24	14



3. 保護者アンケートの結果

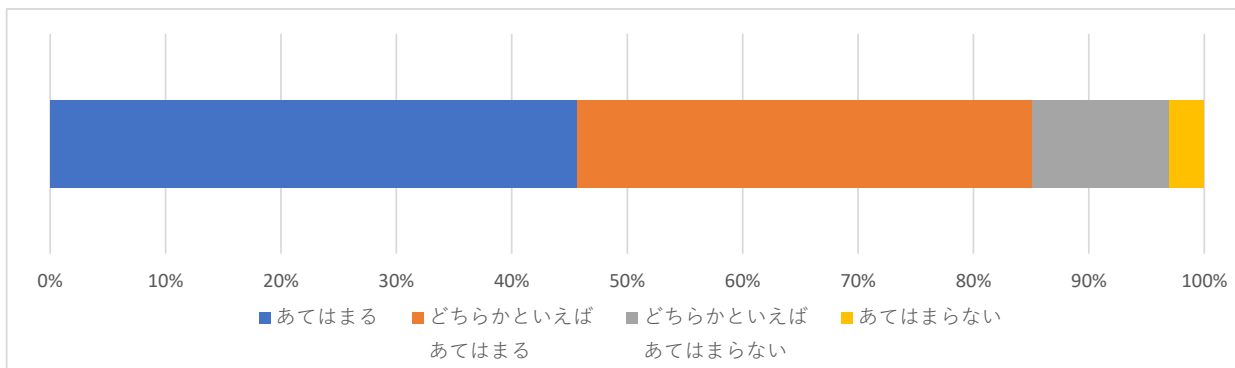
① 池田市では小学校1年生から英語の授業をしていることを知っていますか。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	240	51	6	4



② 児童は英語の授業を楽しんでいますか。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	138	119	36	9



4. 学校関係者からの意見

- ・池田市の教育において、1年生からの英語活動を積極的に行うことはいいことだと思う。
- ・小さいころから英語になじんでいくこと、英語に触れる機会を増やすこと、英語が耳に入ってくることは、英語に対する抵抗をなくすとともに、英語に親しむきっかけとなり、とても有効。
- ・英語は社会に出てから必ず必要となるものである。
- ・英語嫌いをつくりたくないきっかけとなる。そのためには慣れしなすむ、英語を楽しむ指導を。

5. 今後に向けて

今後も、英語活動を1年生から行っていきたい。いろいろな国の言語に出会うことも、生活科や総合的な学習の時間に取り入れ、多文化や多様性教育も進めていきたいと考えています。